

平成 29 年 6 月 1 日

患者の皆様へ

千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学 教授 清水栄司

現在、心の風クリニックでは、千葉大学と共同して「リワーク・デイケアでの既存の質問紙・診療記録データの解析研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、うつ病などの心の病気のために、リワーク・デイケアに参加された患者さんの診療情報などを利用させていただきます。この研究に関するお問い合わせは、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「リワーク・デイケアでの既存の質問紙・診療記録データの解析研究」

2. 研究の意義・目的 リワーク・デイケアに参加した方の診療記録データをレトロスペクティブ（過去をさかのぼって解析する手法です）に解析することで、職場復帰の成否と関連する因子を明らかにすることが本研究の目的です。職場復帰の成功しやすい場合とそうでない場合の要因が明らかになれば、今後の臨床現場で事前対応できる可能性があります。また、プログラムの内容の改善にも役立てることができます。

3. 研究の方法 当院で、リワーク・デイケアに参加された患者さんの年齢性別、休職の回数、診断名、各種質問紙結果、デイケア評価シートのデータなど数値化できるもので、皆様の個人名や会社名、悩みの内容等、個人が特定されるものは用いません。これらのデータと職場復帰の成否との関連を調べます。この研究は過去のデータを用いて行われますので、該当する方の現在・未来には影響を与えませんので、利益・不利益が起りません。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、集団としての結果として示され、個人が特定できる形で公表されることはありません。

データ等は、心の風クリニックの鍵のかかる棚で保管されます。

5. 外部への試料・情報の提供

匿名化され、個人情報と切り離されたデータは、千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学教室で解析されます。対応表は、当研究室の研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学 教授 清水栄司（本調査研究の研究責任者）

医療法人社団爽風会理事長 心の風クリニック 佐々木一（研究協力・情報の提供）

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にお電話、電子メールで、利用して欲しくない旨のお返事をいただきますように、ご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 心の風クリニック・千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

本件のお問合せ先 : 心の風クリニック

臨床心理士 高梨利恵子 (千葉大学 特任研究員 兼務)

千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

教授 清水栄司

043-226-2027 neurophys1@ML.chiba-u.jp